



「人として生きていくための勇気と自信を培うサポート活動」

「40歳くらいまでのひきこもり経験者・不登校・学校中退・対人不安・心理面サポートを必要とされる方への居場所提供・フリースクール活動・個別指導学習サポート・家庭教師・家庭訪問・カウンセリング面談・各種相談活動」

「画像で思考し、言語で確認しているのか？」

超能力で人の心が読めるというドラマやアニメで、相手の考えが声（コトバ）として聞き取れるという描写があるが、超能力という物が存在したとしても、あんな風に「聞き取れる」ということは無いと思っている。

「竹に入った水ようかん」や「串に刺さった団子」が頭に浮かぶ時がある。小腹がすいた時……というわけでは無い。

人と話をしている、相手の人が何かについての自分の考えを語っている時にイメージが浮かんだりする。そういうことがしょっちゅう生じるわけではないのだが、人の話に耳を傾けながら、その背後でイメージ（映像といほど明確ではなく、そのような気配という程度のもの）が感じられていることがあるのだ。

もしイメージが鮮明だったら「（ある種の）共感覚」とも言えるかも知れないが、残念ながら、それほど鮮明なものでは無い。

自分で振り返ってみると、最初は順序が逆だったような気がする。

人の性格というか、物の見方や考え方について思いを巡らせている時に、ふと思いついたのが、自分の内側に基準を持っている人と外側に基準を持っている人が居るようだという考えだった。

「自分の内面に基準がある人」というコトバが「内側に芯がある」というイメージを思い起こさせ、それを取り巻く様に色々な考えや思いがくっつい

ているという所から「串に刺さった団子」というイメージが出てきた。

この「串に刺さった団子」という具体的なイメージを思い浮かべていると、「竹に入った水ようかん」のイメージが浮かび、「ああ、竹に入った水ようかんは反対のイメージか……」という考えが浮かんできた。

一度、「基準が内側にある人」と「串に刺さった団子」、「基準が外側にある人」と「竹に入った水ようかん」というコトバ（概念）とイメージが重なると、人と話している時に背後でイメージ（の気配）が生じるということが起こるようになった。

知識としてカール・グスタフ・ユングが「内向・外向」という概念を提示していて、「性格の8つの類型」という考えを紹介していたことは知っていたが、文献でユングの説明を読んでみて、それはユングの考えとして読み取れたと思えたが、自分の「水ようかん・団子」のイメージをユングが代わって解説してくれているという印象にはならず、「凄く似ている……けど、何か違うところもある……けど、何が違うのかを明確に指摘できない」という感覚だった。

「何が違うのか」を追求してみれば、新たな知見を得ることもできそうな気がするが、「自分はユングでは無いし、それほど強くユングとの一体感を求めているから、ここまででいい……」という思いがあって、追求はしていない。（文章表現するためには、セリフのように記述するしか無いのだが、この「思い」も実際には文章では無くして、「文章にするとそういう表現になるような、ある気配」ということになる。）

自分の体験を振り返ってみると、何か思いを巡らせている時には、画像イメージとコトバの間を思考が行き来している。

さらに、ある感情が沸き起こってきた時に、背後にイメージが浮かんでいて、自分の中に「なるほど……」という感覚（その感情をイメージが的確に表現しているという感覚）があるのだが、それにコトバで説明を付けると「説明からこぼれ落ちたものがある」という感覚が生じることもある。

逆に他の人のコトバでの説明を聞いていて、何かイメージらしきものが自分の中に浮かんでいて、「たぶん、言いたいのは、そういうことなのだろう……」という思いが生じているのに、自分でそのイメージをコトバにすることが難しいということもある。そんな時に発することができるコトバは「う～ん、感覚としては分かった気がするんだけど、どう言ったら良いのか……」というようなセリフになってしまう。

超能力が有っても無くても、相手の思いを直接受信することはできないのでは無いかと思える。

それが、できた時というのは、「自分が相手になってしまっている時」で、そこには「相手が二人居るだけ」で、「自分は居なくなっている」のじゃ無いかという文章で表現されるような感覚が生じた。

今、この瞬間、「その感覚」の背後には「イメージの気配」が無いので、この最後の段落は、この文章をしめくくるために「創作したコトバ」で、本当の感覚は、この文章の内容から、ずっと遠い所にあるのだろうという感覚が生じている。

(高石 公資)

イベント紹介・報告

歩プロジェクトは京都市による平成30年度京都市によるNPO等民間団体の子ども若者支援促進事業の助成を受けて実施しています。

●歩プロジェクト 各種イベント実施

△2018年4月8日
お花見 醍醐寺

参加者がいなく中止となりました。残念。

△パレット河原町商店街清掃活動参加
2018年4月13日
2018年5月11日
2018年6月8日

7月以降各種イベントもいろいろ実施していきます。

●歩プロジェクト「出かけよう(仮)」
2018年4月19日ミーティング
2018年6月3日カップヌードルミュージアム見学・体験

2018年6月7日ミーティングを実施しました。オリジナルのカップデザインとカップヌードルを作る体験が楽しかった。そして日清カップめんの歴史がとても興味深かったです。





●歩プロジェクト「体を動かそう（仮）」
2018年4月19日ミーティング
2018年6月7日ミーティング
2018年6月24日ボウリング
MK ボウル上賀茂でボウリングをしました。
重いボウリングの玉をいかにまっすぐ投げるか体のバランスが必要でいい運動でした。



●歩プロジェクト「学食 walk」
2018年4月19日ミーティング
2018年6月1日滋賀大学瀬田
参加者が定員に満たず中止になりました。
2018年6月7日ミーティング

●歩プロジェクト定期サークル「健康体操教室」
2018年4月17日
2018年5月23日
2018年6月20日

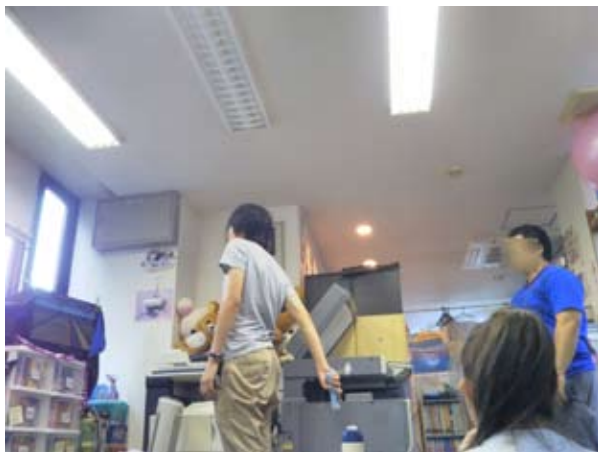
簡単な運動・ストレッチ・ヒーリング棒を使ったヒーリングと腸のマッサージを行っています。

8月のみ第4水曜日13時半から実施しますが原則第3水曜日14時半実施です。ぜひご参加ください。見学もお申し出ください。



●レク日
2018年5月より2017年度まで集い場○のレクリエーション部で室内レクリエーションを実施していたものを独立して「レク日」と設定し、この日は音の大きく出るものやテレビゲームをすることができる日とし、またこの日はイベントと同じ扱いで利用料がありますがどなたでも利用できるようにいたしました。
利用料 内部生無料 利用生500円 その他700円です。
内部生・利用生以外は事前申込みが必要です。

5月12日17日26日31日
6月9日14日23日28日に実施しました。



ものづくりかふえ

●歩プロジェクト定期サークル「ものづくりかふえ」

2018年4月20日

2018年5月18日

2018年6月15日

4月はカラータイルアート5・6月は羊毛フェルトを使った作品を参加者が各自で自由に作りました。ものづくりかふえは毎月第3金曜日（8月は第4金曜日実施）の15時～16時半で行っています。参加希望・見学希望もお申し出ください。





特定非営利活動法人
京都教育サポートセンター

学習・居場所・レクリエーション 社会活動・家庭派遣・各種相談

人として生きていくための、勇気と自身を培う

活動内容

- ★個別指導学習サポート(受験対応)
- ★居場所提供(自習利用を含む)
- ★レクリエーションイベント・社会活動
- ★家庭派遣(はなし相手・保護者相談)
- ★家庭教師
- ★育成社会性学習(育成学級や支援学校在籍者などに読み書き計算や生活に必要なスキルを身につけるものです)
- ★各種相談(生活・進路・心理・対人関係など)
本人・保護者ともに対応(面談・電話・メール形式)



※対象 小学生～40歳くらいまで

不登校・ひきこもりを含め、社会的に生きにくさを感じている方
(見学・面談→体験利用で希望と合わせ受け入れ可否を判断)

費用(抜粋・ <u>利用形態により変動有</u>)	見学無料 体験:有料(一部無料)
登録料	19,440円(家庭派遣のみは10,800円)
基本利用料(月額)	学習4,320円 居場所利用10,800円(小中学生)～
オプション	学習サポート:80分3,240円 60分2,700円 家庭派遣家庭教師:60分3400円～(+交通費実費) 面談相談 30分1,000円～ 社会性学習50分3,780円 電話相談:2,160円(電話権利・月額)+540円(30分毎)



特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター

〒604-8005 京都府京都市中京区恵比須町439早川ビル6階

電話 075-211-0750 メールsoudan@ksce.jpn.org

HP <http://ksce.jpn.org>

FB <https://www.facebook.com/ksce.apollo/>



寄付・寄贈・ボランティア
随時募集中

活動をご支援ください

特定非営利活動法人京都教育サポートセンターは運営の面においては限りなくギリギリの経営状態で運営しており、それを支えていただいているのは皆様の様々なご支援に他なりません。ご支援ください。どうかお願いいたします。

ご支援いただきたいこと

○ 賛助会員・寄付会員

直接的な運営支援です。賛助会員・寄付会員になっていただいた方には、毎月発行の機関紙「KSCE通信」にて活動報告とともに、当所活動「ものづくりかふえ」などで利用生が作成したものを、お礼として送付させていただきます。



※物品寄贈品利用目的

- 赤本・問題集・教科書・参考書・辞書・過去問題・資格教材→当所学習サポートで利用
 - カードゲーム・ボードゲーム・マンガ・書籍→当所フリースペース利用
 - ビーズ・フェルト・羊毛フェルト・接着剤他手芸品や手芸用工具→ものづくりかふえ活動で使用
 - 衣類・雑貨・書籍・食器・文具・日用品→当所活動またはフリマバザー活動で使用(日用品の一部はバザー不可のもの有)
 - 家具類・AV機器類→バザーは不可なので当所利用ができるもののみ
- ※バザー活動での収益は当所活動費用に充当いたします。

○ 物品寄贈

当所のフリースペースやフリースクール活動(リユース・バザー活動)・学習サポート活動で使用できるようなものであれば何でもご寄贈ください。右記に大まかなリストを掲載します。そして寄贈者の方には当所が毎月発行している機関紙「KSCE通信」にて活動報告を1年位(メール添付形式は無期間)報告させていただきます。

○ ボランティアスタッフ

当所の活動をスタッフとして支えていただける方を募集しています。満20歳以上40代くらいまで。下記の中で同じ曜日週1日以上または曜日関係なく月4日以上活動可能な方募集中。

月曜日:事務作業 15時~19時位の中

火曜日~土曜日 話し相手・遊び相手・自習サポートイベント実施時

お手伝いなど 10時半~18時半の中

毎月第1日曜日 スタッフミーティング

日曜日 イベント実施またはお休み

京都教育サポートセンターの活動理念

[人として行きたいための勇氣と自信を培う]
[やろうと思うことをする。いいこと=しないといけないではない]
[良いか悪いかでなく、しようと思えるか思えないか、考えよう]

Homepage <http://ksce.jpn.org/>

特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター

〒604-8005

京都府京都市中京区恵比須町439早川ビル6階

地下鉄・京阪「三条」徒歩4分 阪急「河原町」徒歩8分

075-211-0750 soudan@ksce.jpn.org



☆ 賛助会員・寄付会員を募っています

賛助会員は 12000 円／年

寄付会員は金額は任意です。どちらの会員も機関紙による活動報告をさせていただき、会員の種類・金額により、ものづくりかふえ活動での手作り品のお礼をさせていただいています。寄付会員の方は、良ければ機関紙に寄付の方のお名前を掲載させていただけると幸いです。

☆ 物品寄贈も随時募っています

衣類・雑貨・書籍など市役所前フリマに出店して販売できるものを随時募集しています。ゴミの減量目的のリユース活動として、フリマの収益は当所の運営に充当させていただきます。NPO の苦しい会計の手助けをしていただくと幸いです。また当所の学修サポート・フリースペース提供・フリースクール活動で使用できる教材・赤本・高校卒業程度認定試験対策問題集・教科書・教科書ガイド・問題集・マンガ・小説・知育玩具・パズル・ボードゲーム・カードゲーム・スポーツグッズ・収納関係（要事前相談）・OA 機器・OA サプライ等を随時募集しています。宅急便（費用はお願いしています）・持ち込みなどをお願いしております。徒歩圏内は台車でのお伺いも可能です。賛同していただける方は電話・メールでお申し出ください。もしよろしければ、通信による活動報告や、通信へのお名前の記載をさせていただけると幸いです。

京都市上京区 匿名様、京都市伏見区 太田様、東京都 匿名様より寄贈いただきました。ありがとうございます。（お名前掲載の許可をいただいた場合には氏名で掲載させていただきます）

○ 京都教育サポートセンターの活動をご支援ください

ボランティア募集・物品寄贈・賛助会員・寄付会員・などのお問い合わせはお気軽にお申し出ください。電話（075-211-0750）は火曜日～土曜日の 11 時から 18 時（時間外も代表在中時は対応いたします）メールは 24 時間受付 soudan@ksce.jp まで。

編集後記

今号より「KSCE 通信」は活動報告・コラム・募集やお知らせを中心の機関紙にリニューアルいたします。次月の予定や利用者向けのコラムなどは新機関紙「ゆっ歩（ゆっぽ）通信」として創刊いたします。

これからも京都教育サポートセンターの活動にご理解とご支援をどうかよろしく願いいたします。

（南山 勝宣）

フェイスブックページ

<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>

Twitter ID 「ksceleader」

ブログ http://ksce.jp.org/?page_id=1234

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jp、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中京区三條河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2018 年 7 月 9 日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター